

償還交付運用報告書

リアル・アセット債券ファンド

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

<愛称> リアル・インカム

追加型投信／内外／資産複合

繰上償還

作成対象期間：2024年3月19日～2024年8月20日

最終期 償還日：2024年8月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース」は、信託約款の規定に基づき、2024年8月20日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、リアル・アセット企業の発行する債券等を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

償還時 2024.8.20		
	円ヘッジありコース	円ヘッジなしコース
償還価額	10,387円80銭	15,766円02銭
純資産総額	531百万円	818百万円

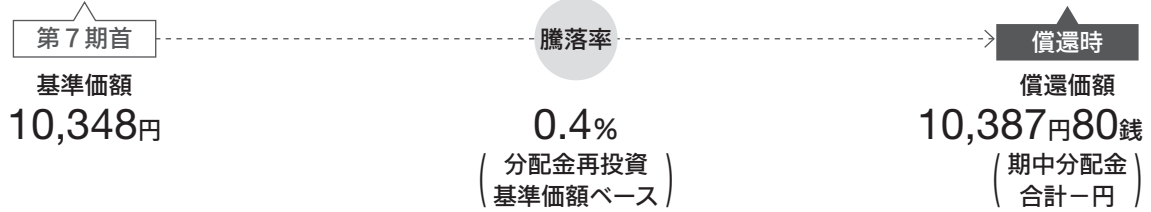
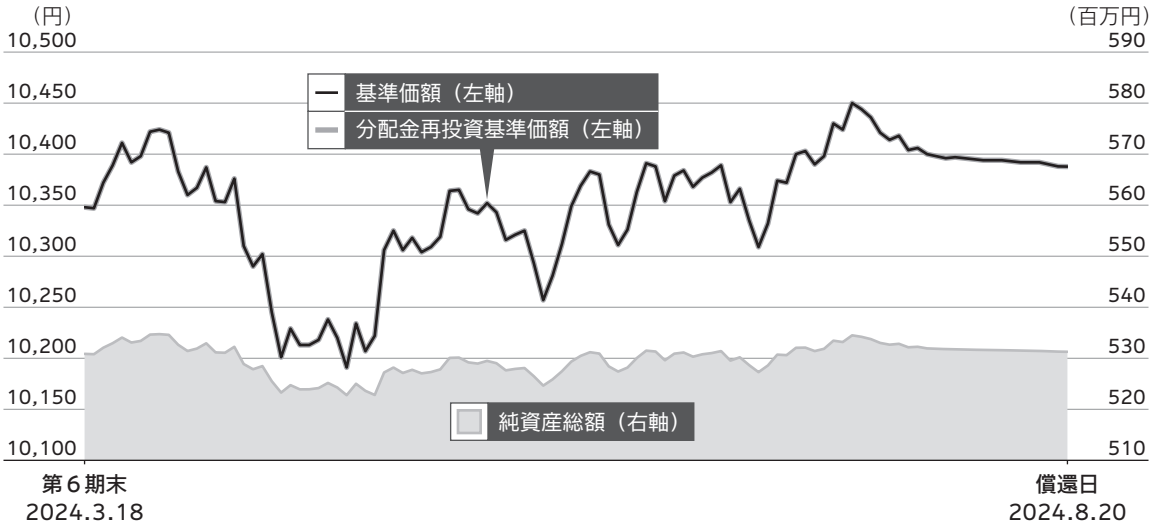
最終期 2024.3.19～2024.8.20		
騰落率※	0.4%	4.9%
期中分配金合計	－円	－円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移

円ヘッジありコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年3月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

主要投資対象であるリアル・アセット債券マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は小幅に上昇しました。なお、当ファンドは対円で為替ヘッジを行っていたため、為替変動による影響は限定的となりました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は+5.5%となりました。

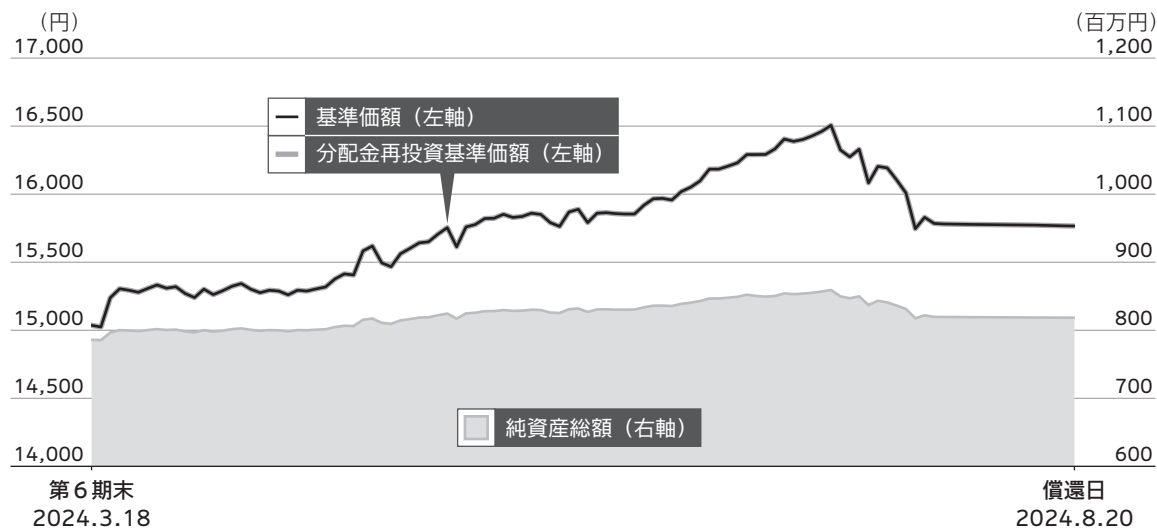
保有する債券のインカム（利子）要因やキャピタル（価格変動）要因がプラスに寄与しました。また、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

円ヘッジなしコース



第7期首

基準価額

15,036円

騰落率

4.9%

(分配金再投資)
(基準価額ベース)

償還時

償還価額

15,766円02銭

(期中分配金)
(合計ー円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2024年3月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

主要投資対象であるリアル・アセット債券マザーファンドの基準価額の上昇により、当ファンドの基準価額は上昇しました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は+5.5%となりました。

保有する債券のインカム（利子）要因やキャピタル（価格変動）要因がプラスに寄与しました。また、為替市場において、米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

円ヘッジありコース

項目	最終期 2024.3.19～2024.8.20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	55円	0.528%	$(a) \text{ 信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率 (年率)} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,340円です。
(投 信 会 社)	(29)	(0.280)	ファンドの運用の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.234)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.005	$(b) \text{ 売買委託手数料} = \frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.005)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	$(c) \text{ 有価証券取引税} = \frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.014	$(d) \text{ その他費用} = \frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	57	0.547	

注 1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

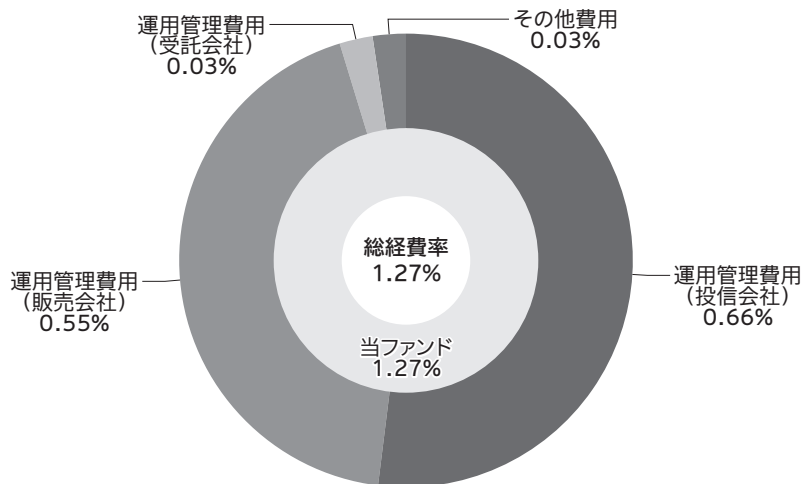
注 2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注 3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.27%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



円ヘッジなしコース

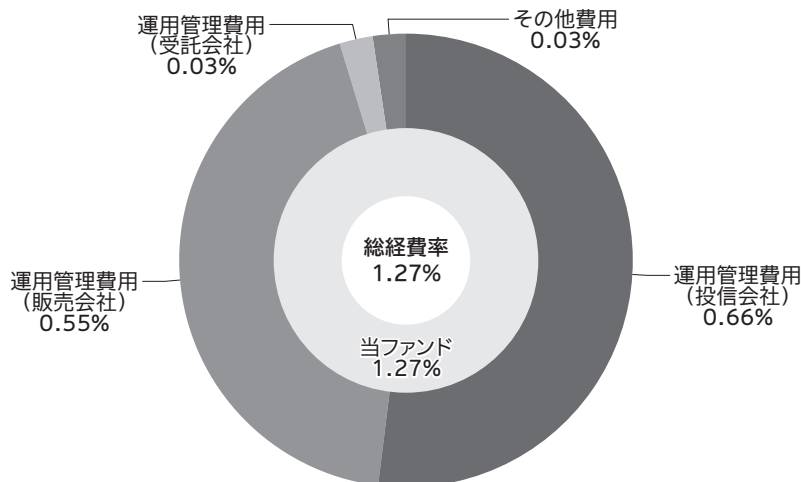
項目	最終期 2024.3.19～2024.8.20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	83円	0.528%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は15,745円です。
（投信会社）	(44)	(0.280)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(37)	(0.234)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.005	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.005)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.014	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(2)	(0.014)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	86	0.547	

- 注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- 注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- 注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.27%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2019.3.18~2024.8.20



- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年3月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

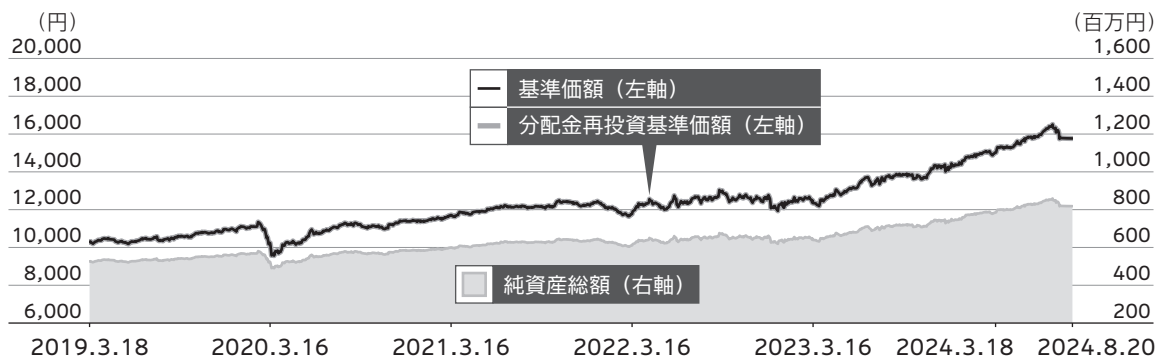
決算日	2019.3.18 決算日	2020.3.16 決算日	2021.3.16 決算日	2022.3.16 決算日	2023.3.16 決算日	2024.3.18 決算日	2024.8.20 償還時
基準（償還）価額 (円)	10,119	10,465	11,306	10,826	10,010	10,348	10,387.80
期中分配金合計（税引前） (円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	3.4	8.0	△ 4.2	△ 7.5	3.4	0.4
純資産総額 (百万円)	516	535	578	554	513	530	531

最近5年間の基準価額等の推移

2019.3.18~2024.8.20



円ヘッジなしコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年3月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2019.3.18 決算日	2020.3.16 決算日	2021.3.16 決算日	2022.3.16 決算日	2023.3.16 決算日	2024.3.18 決算日	2024.8.20 償還時
基準（償還）価額 (円)	10,294	10,240	11,718	11,772	12,342	15,036	15,766.02
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.5	14.4	0.5	4.8	21.8	4.9
純資産総額 (百万円)	526	524	600	610	639	786	818

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○リアル・アセット債券市場

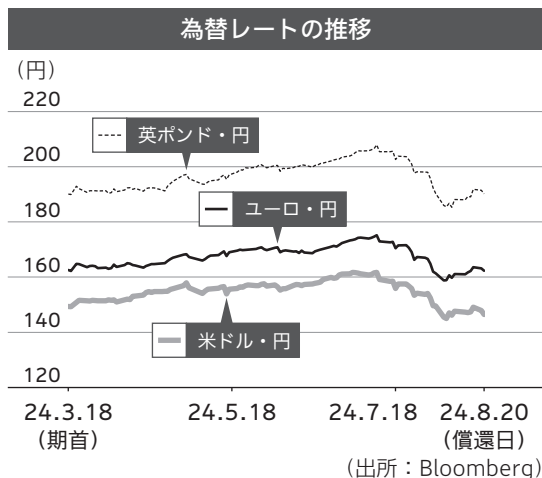
当期のリアル・アセット債券市場は上昇しました。

期初は、米国において政策金利が据え置かれたことなどから、米国の利回りは低下（価格は上昇）しましたが、米国の堅調な経済指標や、FRB（米連邦準備理事会）が利下げ開始に慎重な姿勢を示したことなどを受け、2024年4月下旬にかけて利回りは上昇（価格は下落）しました。5月に入ると、米国のマクロ指標の軟化によりインフレ率上昇への警戒感が和らいだことから、利回りは低下基調で推移したものの、FOMC（米連邦公開市場委員会）議事要旨の内容がタカ派的（金融引き締め政策に積極的）と受け止められたことや、インフレ圧力の根強さを示す強い経済指標を受け、5月末にかけて利回りは上昇しました。その後は、利益確定や持ち高調整の売りや、堅調な経済指標などを受け、一時的に利回りが上昇する局面も見られましたが、経済指標の下振れによるインフレ鈍化が意識されたことや、中東情勢の不透明感の高まりや株式市場の下落などを背景とする債券買いが優勢となったことで、期末にかけて利回りは低下しました。

○為替市場

米ドル、ユーロは円に対して下落した一方で、英ポンドは円に対して概ね横ばいとなりました。

米ドルは、日銀がマイナス金利政策を解除したものの当面は緩和的な金融環境を継続する意思を示したことや、米国の堅調な経済指標を受け、期初から2024年7月上旬にかけて上昇しました。その後は、日銀による為替介入の実施や米国の長期金利が低下基調となったこと、米国トランプ氏や日本政府高官から円安をけん制する発言が相次いだこと、日銀による追加利上げを受け、円の買戻しが進んだこと



注。為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

から下落しました。

ユーロ、英ポンドについても、円の買戻しにより急速に円高が進行したものの、欧州の政治的な先行き不透明感がやや後退したことなどを背景に上昇する局面もあり、期を通しては、ユーロは小幅な下落、英ポンドは概ね横ばいとなりました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通して、リアル・アセット債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。なお、円ヘッジありコースでは、実質組入外貨建資産について対円で為替ヘッジを行いました。その後、当ファンドの繰上償還に向けて、マザーファンドを全売却しました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期を通して、リアル・アセット企業の発行する債券などの組入比率を高位に維持した後、当ファンドの繰上償還に向けて、キャッシュ化を進めました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。



円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

該当事項はありません。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<償還を迎えて>

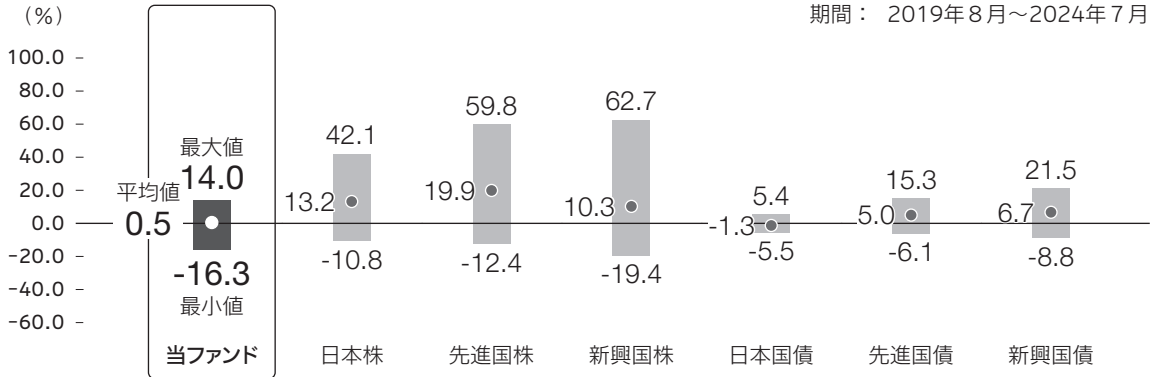
当ファンドは、2024年8月20日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年4月20日から2024年8月20日まで（当初、2028年3月15日まで）
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	 リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース リアル・アセット債券マザーファンド受益証券  リアル・アセット債券マザーファンド 世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等
運用方法	①主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業（長期にわたり、継続して安定したキャッシュフローを生成する資産を、保有している企業）の発行する債券等（期限付劣後債、永久劣後債、優先証券等を含む）に分散投資を行います。 ② マザーファンドにおける、債券等の運用指図に関する権限を、コーヘン＆ステアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。 ③ 「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

円ヘッジありコース



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

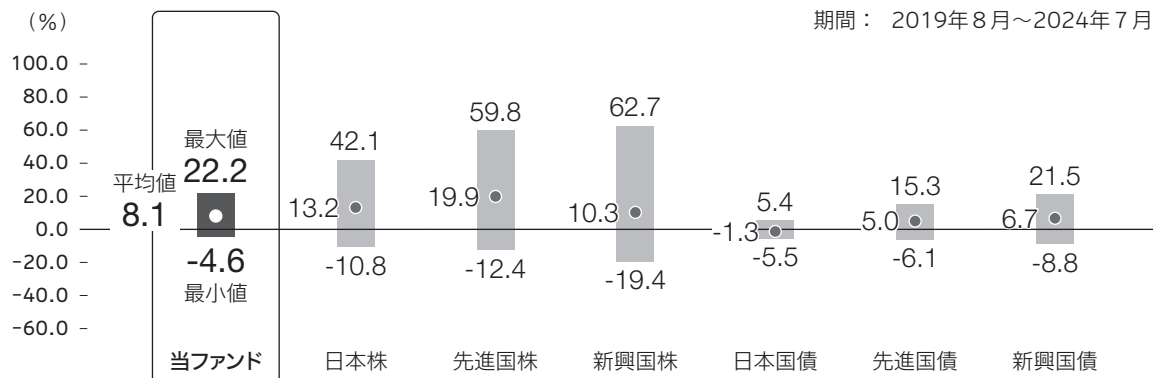
日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は19ページをご参照ください。

円ヘッジなしコース



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は19ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ



円ヘッジありコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

※ 組入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	償還時 2024.8.20
純資産総額	531,270,679円
受益権総口数	511,436,994口
1 万口当たり償還価額	10,387円80銭

※ 当期中における追加設定元本額は428,654円、同解約元本額は1,984,532円です。



円ヘッジなしコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

※ 組入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	償還時 2024.8.20
純資産総額	818,420,535円
受益権総口数	519,103,959口
1 万口当たり償還価額	15,766円02銭

※ 当期中における追加設定元本額は2,013,669円、同解約元本額は5,642,921円です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

リアル・アセット債券ファンド コース

検索

それぞれのコースをご入力下さい。

円ヘッジあり

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0984/sales.html>



円ヘッジなし

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0985/sales.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。